

市民協働レポート

｜ 飼い主のいない猫対策事業 ｜ 環境対策課 ｜

協働形態 : ①共催 ②実行委員 ③協力 ④委託 ⑤その他

01 取組の概要

東大和市では地域猫活動の取組の支援として、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術の費用助成や、捕獲器の貸出しを行っています。

市内では、地域猫活動ボランティアの方が地域から猫の被害を減らすために、不妊・去勢手術を受けさせ、エサやりや猫トイレの管理をしています。

地域猫活動とは、飼い主のいない猫による被害を地域の問題として捉えたうえで、地域住民・地域猫活動のボランティア・行政が適切な役割を分担し、問題の解決に向けて連携・協働していく活動です。

02 協働のきっかけ

猫の不妊・去勢手術に関しては、平成 19 年度から東京都の医療保険政策区市町村包括補助事業（飼い主のいない猫対策 補助率 1/2）の対象事業となりました。平成 29 年度から助成対象を飼い主のいない猫に限定し、助成額を増額しました。平成 31 年度からは、去勢手術の助成額を 5,000 円に増額し、更に令和 2 年度からは不妊去勢手術の助成額を共に 5,500 円に増額しました。

また、耳カットがされていないため未手術だと判断して手術を受けさせたが既に手術済みであった場合の麻酔代については、助成の対象外でした。事業の推進を図るため市民からの要望を基に検討した結果、令和 3 年度から前述の場合においても麻酔代 3,300 円も補助対象としました。

今後においても市民の声を事業内容に反映し、市とボランティアの方々がそれぞれの役割を担いながら、地域猫活動の啓発を地道に継続して行きます。

03 協働の成果

毎年度多くの地域猫活動ボランティアの方々にご協力いただいております。これ以上飼い主のいない猫が増えないように、不妊・去勢手術を施すことで新たな繁殖を防ぎます。

協働の成果の一つとして、不妊・去勢手術助成金の交付実績は次のとおりです。

《令和 3 年度 実績》

助成単価：不妊・去勢 5,500 円、麻酔 3,300 円（いずれも上限額）

助成件数：不妊 44 件、去勢 40 件、麻酔 2 件

協働の パートナー

市民環境部 環境対策課

市民の方に対して不妊去勢手術代、麻酔代に係る助成金交付事業を実施。

不妊去勢手術を目的とした猫の捕獲器の貸出しも行っています。

地域猫活動ボランティア

地域猫活動に協力していただいている市民ボランティアの方々です。市での登録制度等はないため、自発的に活動をしていただいています。

飼い主のいない猫(野良猫)のうち、地域住民の理解のもとで被害対策も含めて適正に生態が管理され、地域住民との共存が図られている猫を地域猫と呼んでいます。

